



スクールリポート

学校教育課
☎23-3679

学校生活の
一コマを
紹介



「高松の偉人に学ぶ」 ふるさと学習

高松小学校



●豊川用水の見学



●水を抜いた大正池の見学

本校の4年生の子どもたちは社会科単元「水とくらし」「郷土の偉人」の学習で豊川用水と近藤寿市郎氏について学び、さらに総合的な学習の時間を使ってふるさと学習を行っています。

寿市郎氏は高松町の出身で、高松小で教鞭を執っていたこともあり、子どもたちにとっては郷土の大先輩にあたります。

これまで子どもたちは、寿市郎氏の生い立ちや業績、豊川用水の仕組みなどについて学んできました。今回は、地元法蔵寺のご住職・神谷さんの案内で、豊川用水や大正池を見学しました。ちょうど大正池は老朽化した堤防の改修工事中で、水を抜いているところでした。子どもたちは池の底が見えたことに驚きの声を上げていました。

今回の学習の成果は、11月に行われた学習発表会で保護者の方に発表しました。地域に学び、郷土愛を育てるふるさと学習を今後も大切にしていきたいです。



「ふるさと学習」 泉中FOREVER～泉の心 薫る学校～

泉中学校

令和3年3月に閉校を迎える本校では、本年度「泉中FOREVER～泉の心 薫る学校～」と題して、学年ごとに、泉校区の現在、過去、未来をテーマとしたふるさと学習に取り組んでいます。閉校に際し、改めてふるさとに積極的に関わり、自ら考え、行動する力を育むことをねらいとしています。

2年生は、校区や中学校の歴史を探っています。おうむ石の伝承を学習しているグループは、現地に赴き、声や楽器を使って実際に音が反響するかを調べました。

また、卒業アルバムをもとに、過去にあった部活動や部員数を調べたり、賞状やトロフィーなどから実績を紐解いたりしているグループもあります。生徒は、「年表を完成させて、パンフレットにすることが決まりました。まだまだやることがたくさんあります。」と、たいへん意欲的です。

この他、1年生は、校区のよさを再確認し、PRする方法を考えています。3年生は、閉校後の跡地利用を考え、発信する準備をしています。これらの学習の成果は、閉校記念式典の際に披露する予定です。



●おうむ石の前で実験する生徒

「泉中学校閉校記念式典」 のお知らせ

日時：令和3年3月13日

午後1時30分～

場所：泉中学校体育館など